



新緑のまぶしい中央公園を満喫（5月18日・19日）

第42回五竜みどりまつりが中央公園で行われました。園内では緑花木の即売や出店が並び、美しい新緑を楽しみながら散策していました。ステージ上では吹奏楽やバンド演奏、フラダンスなどが披露され、祭りに華を添えました。

狙いすまして・・・

（5月19日）

第48回市スポーツ祭レクスポ3種の大会が市民体育館で行われました。競技はファミリーバドミントン、ペタボード、輪投げの3種目。気軽に楽しめるものばかりで幅広い世代が参加。参加者同士で話も弾みます。笑顔とともに体を動かす楽しさを実感した1日となりました。

特派員：渡邊 英機



千福が丘小30回記念の運動会

（5月25日）

雲一つない青空の下、千福が丘小学校の運動会は30回目となる記念の大会を迎えました。開会式と合わせて記念のバルーンセレモニーを行った後、競技となりました。応援合戦では紅組・白組が勝利を精一杯アピール。子どもたちも地域の皆さんも思い出に残る運動会となりました。

児童生徒の主張発表に共感

（6月2日）

第38回わたしの主張裾野市大会が市民文化センターで開催されました。市内の小・中学校、高校の代表者17人の堂々とした主張発表には気付かされることや共感することも多く、約300人の来場者は聞き入っていました。





現役選手がラグビーの魅力を伝える（6月5日）

社会人ラグビークラブヤマハ発動機ジュビロの大塚健太選手と高部大志選手が南小を訪れ、5年生にラグビーの魅力を伝えました。現役選手を間近で見て、力強さを実感しました。ラグビーの基本を学んだ後は、実際にパスやリフティング、タックルを体験しました。

日々の業務改善の努力が実を結ぶ（6月14日）

文部科学大臣表彰創意工夫功労者受賞者の市長報告会が市役所で行われました。本年度の市関係の受賞者は33人で、県内受賞者62人の過半数となっています。様々なモノづくりの現場で、仲間に支えられ創意工夫をもって日々改善に取り組んできた功績が認められたものであり、その成果が報告されました。



あの、その、すその 特派員リポート

■素敵な笑顔ときれいな歯、残していこう（6月8日）



健康と歯のフェスティバル～第41回よい歯をつくる親子のつどい～が市民文化センターで開催されました。式典では「噛むカムケア8020コンクール」の表彰などが行われました。会場内には、歯と健康のポスター・標語展示や健康機器測定、8020推進員によるバルーンアートなどのさまざまなコーナーがあり、多目的ホールでは歯科医師による歯科相談・検診、8020推進員によるブラッシング指導も行われ、楽しみながら歯の健康について考えることができました。



絵画は制作に時間がかかってしまい、瞬時に何枚もの情景を撮ることのできる「写真」を始めました。ファインダーを通して子どもたちの笑顔や美しい自然など、最高の真実を写真でお伝えできるような特派員を目指しています。

広報特派員 小林 建次